

## 「ヘモグロビンA1c (HbA1c)」 国際標準化への対応に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本糖尿病学会より発表された、「平成 25 年度以降における HbA1c 国際標準化の運用計画」において、ヘモグロビンA1cは「NGSP値」の単独表記を推進するとされております。つきましては、これに対応すべく、当社と致しましても下記の検査内容の変更を実施させていただきますのでご案内いたします。

弊社事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 変更項目

- HbA1c (NGSP) : 項目コード 2131
- HbA1c (JDS) : 項目コード 2077

#### 変更期日

平成25年4月1日(月)受付分より変更

#### 変更概要

- HbA1c (NGSP) のご依頼について、従来はNGSP値と同時にJDS値も報告しておりますが、NGSP値のみの単独報告と変更致します。

尚、NGSP値とJDS値を同時依頼された場合、請求は、NGSP値のみとさせていただきます。また、JDS値につきましても、現行と同様に受託を継続いたします。

※ 詳細は裏面以降をご参照下さい。

### 保健科学グループ



株式会社 **保健科学研究所**

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661  
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345  
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201  
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622  
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

い か が く 小 田 原 衛 検  
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所  
保健科学東日本 ケーアイイー細胞病理研究所  
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所  
組織科学研究所 相模医研  
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター  
東部メディカルセンター

平成25年4月1日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
2131 (3D046)	HbA1c(NGSP)	備考欄	《削除》	(日常臨床用) 2077:JDS値も同時報告いたします。	HbA1c国際標準化に伴う対応のため。	3
2077 (3D045)	HbA1c(JDS)		《削除》	(特定健診等用)		

▼ ご依頼から請求までの流れ

1) NGSP値(項目コード:2131)のご依頼の場合



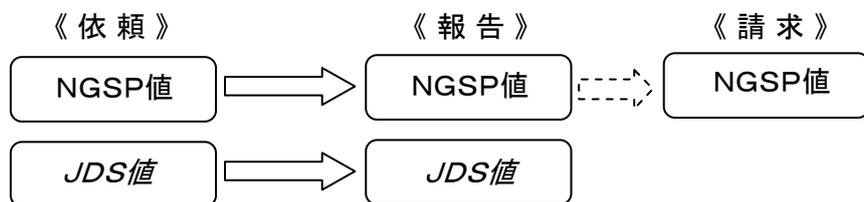
・NGSP値をご依頼された場合、結果報告及び、請求もNGSP値のみとなります。

2) JDS値(項目コード:2077)のご依頼の場合



・JDS値をご依頼された場合、結果報告及び、請求もJDS値のみとなります。

3) NGSP値(項目コード:2131)とJDS値(項目コード:2077)を同時にご依頼の場合



・NGSP値とJDS値を同時にご依頼された場合、結果報告はNGSP値とJDS値の両方を実施します。尚、請求に関しては、NGSP値のみとなります。

【2013年4月1日以降の受託要綱】

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
2131 (3D046)	HbA1c(NGSP)	全血 2.0mL	J 冷蔵	酵素法	4.6~6.2 (%)	1 5 2	49 血液	
2077 (3D045)	HbA1c(JDS)	全血 2.0mL	J 冷蔵	酵素法	4.3~5.8 (%)	1 5 2	49 血液	

▼ 参考文献

○日本糖尿病学会：平成25年度以降におけるHbA1c国際標準化の運用計画